

ことばのちから～空から情景描写を見てみよう～

国語班：久木野友香, 香西夕奈, 熊谷つばさ, 加美千尋, 神宿鈴

1. はじめに

中学校の教科書の文章の「空」の情景描写に注目し、小説における情景描写について次のような仮説を立てた。高津高校の生徒を含めた 1000 人以上にアンケートを実施し、その結果から考察した。

2. 仮説

- ① 文章のイメージの原因になる要素（色、温度、においなど）には優先順位がある。（図 1）
- ② 「風」は、明るいとも暗いともいえない中間的要素である。（図 2）

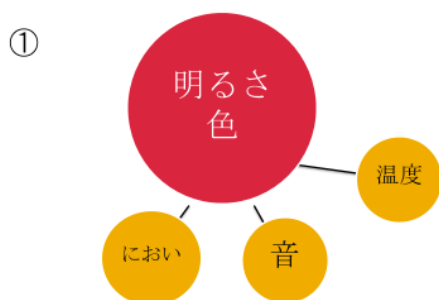


図 1

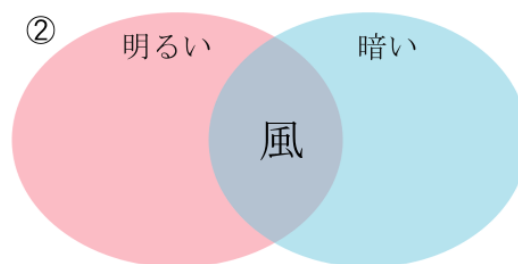


図 2

3. 調査方法

ある場面の共通の文章の続き（図 3）を、A「あきらかに明るい展開が予想される文章」 B「あきらかに暗い展開が予想される文章」 C「『そのとき、急に風が吹いた。』」の 3 パターン（図 4）用意し、それぞれ「明るい」展開と「暗い」展開のどちらのイメージを持ったか、また、イメージの原因になった単語は何かを調査した。Cでは「風」についての描写を盛り込んだうえ、どのような風を想像したのか記述式で質問した。

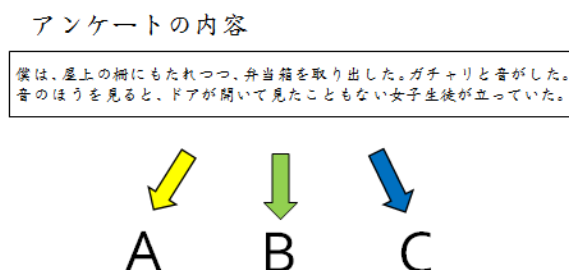


図 3

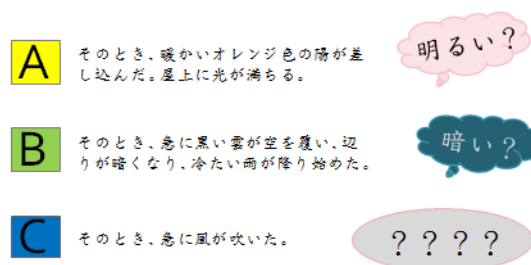


図 4

4. 結果

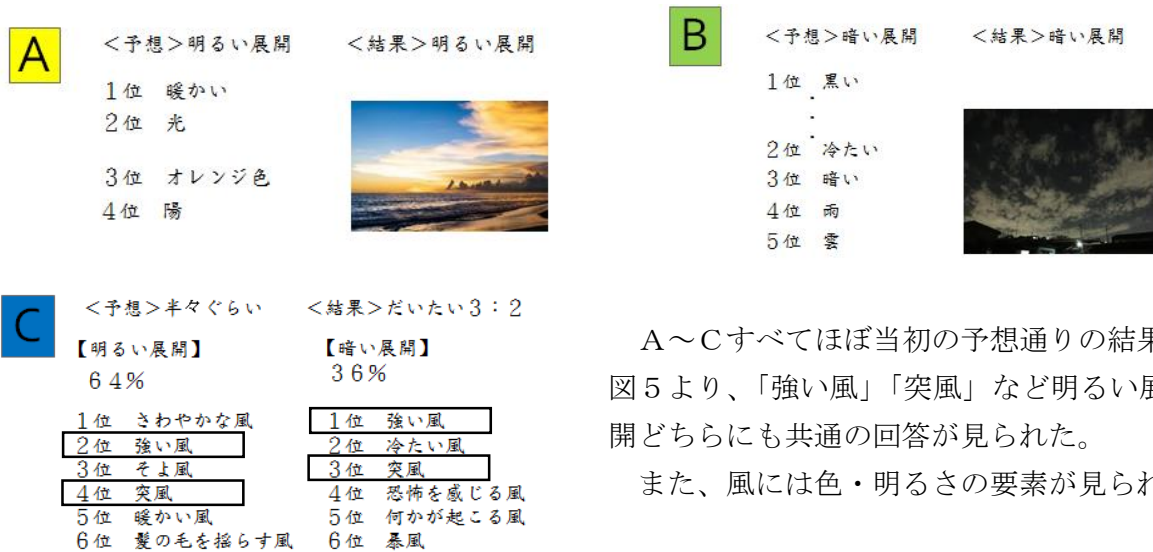


図5

A～Cすべてほぼ当初の予想通りの結果になった。図5より、「強い風」「突風」など明るい展開と暗い展開どちらにも共通の回答が見られた。

また、風には色・明るさの要素が見られなかった。

5. 考察

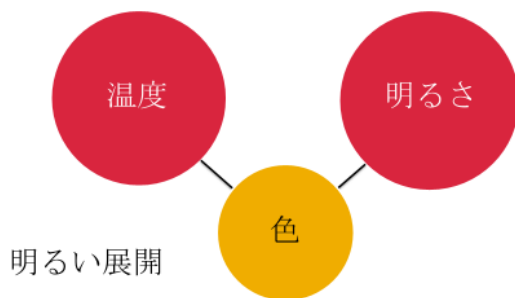


図6

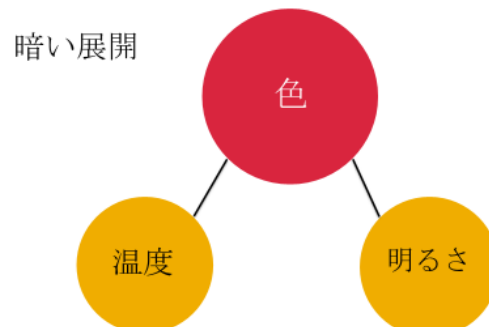


図7

明るい展開では「温度」「明るさ」から場面をイメージした人が「色」からイメージした人より多く（図6）、暗い展開では「色」から場面をイメージした人が「温度」「明るさ」からイメージした人より多かった（図7）。この偏りは当初の仮説とは違った。

結果で述べたように、風には「色」「明るさ」の要素がないため、「温度」そして新たに「強さ」という要素が見られた。

加えて、「強い風」「突風」など明るい展開と暗い展開どちらにも共通の回答が見られた。しかし、「強い風」の回答の中でも明るい展開では髪がなびくぐらいの風が多く、暗い展開では台風のような強い風が多いなど、「強い風」といってもその強さのイメージが個人によって違うと思われる。よって、読み手によって「強い風」は明るい展開にも暗い展開にもなりえる。このことから、やはり風は中間要素であると考察した。中間要素としての風は、筆者が場面を読者に想像させるために使われたと考えられる。

6. 結論

小説などの文章を読んで場面をイメージする原因になる要素には、仮説①で述べた通り優先順位があった。「風」は仮説②で述べた通り中間要素であった。

今回の研究を通して得た、イメージの要素の優先順位や中間要素の存在をこれから文章を書く際に生かしていきたい。

7. 参考文献ならびに参考Webページ

- ・「weblio 辞書」 <http://search.yahoo.co.jp/amp/s/www.weblio.jp>2018年10月31日
- ・三角洋一・相澤秀夫「新しい国語1」2014年2月10日（東京書籍）
- ・三角洋一・相澤秀夫「新しい国語2」2015年2月10日（東京書籍）
- ・中瀬正堯 「現代の国語3」2016年2月25日（三省堂）